



# 第12次中期経営計画 進捗 (2023～2025年度)

株式会社 エフ・シー・シー

2024年5月17日

東証プライム 証券コード：7296

URL : <https://www.fcc-net.co.jp/>

# 第12次中期経営計画 進捗



## 第二の創業に向け経営基盤の強化と事業ポートフォリオ転換を着実に推進



### 経営基盤の強化

基幹事業  
(クラッチ)

#### 二輪・四輪事業の収益力の向上

##### インド・インドネシアを中心に需要堅調

二輪

- インド顧客新規受注でマーケットシェア拡大
- 各拠点アフターマーケット売上増

四輪

##### 北米の市場回復と体質強化により収益最大化

- 中国経済不振も北米市場で回復基調
- インフレ価格転嫁と内部体質の強化で収益増

サステナビリティ

#### ESG課題解決を推進

- 省エネ・再エネ施策の展開
- 人材戦略に向けたエンゲージメント調査、DX人材育成の体系化の推進

### 事業ポートフォリオ転換

新規事業

#### 成長投資、リソース投入を推進 一部生産着手へ

二輪

##### 電動基幹部品・パワーユニット量産準備

- インド：電動基幹部品・パワーユニット量産準備
- 日本：モータ量産検証ライン設置

四輪

##### モータコアSUBモジュール事業量産準備

- 中国：モータコアSUBモジュール事業量産準備
- 日本：モータコア量産検証ライン設置準備

非モビリティ

##### カーボンニュートラルに貢献する事業開発

- セラミックセッター量産準備(24年上市予定)
- LiB用導電助剤の検証ライン準備(25年上市予定)

# 第12次中期経営計画 進捗



## 主要経営指標の進捗

- 基幹事業の拡大や為替の円安効果もあり、売上収益/営業利益は1年前倒しで中計目標値達成を見込む。
- 事業ポートフォリオ転換に向けた新事業創出は、リソース投入を推進、一部量産準備へ移行

	12次中期計画 最終年度 目標値('23年5月公表)	2023年度 中計1年目 実績	2024年度 中計2年目 予想	2025年度 中計3年目 予想
売上収益(億円)	2,340	2,403	2,380	2,390
営業利益(億円)	160	151	160	165
ROE	8.0%	7.1%	6.7%	7.5%以上
総還元性向	40%	40.7%	40%以上	40%以上
事業ポートフォリオ転換 新事業創出	仕込みの完了	成長領域へリソース投入 一部量産準備へ移行	成長領域へのリソース 投入加速	第二の創業に向けた 仕込みの完了
為替レート(USD)	135	144.63	140	140

# 第12次中期経営計画 進捗



## 二輪事業：基幹事業と新規事業 全方位で拡大に向けて推進

基幹事業 | クラッチ事業



需要堅調、廉価・高付加価値技術の投入による商権獲得、収益は概ね計画通り

市場

- 市場全体：前年比需要増
- インド、インドネシアを中心に堅調に推移
- ブラジルやフィリピンも加えたグローバルサウスへの動き

当社

- インドマーケットシェア7割に向けた仕込み
  - ▶NEXT市場も見据えた廉価モデル拡販
  - ▶更なる原価低減活動
- グローバルアフターマーケット戦略の推進

### ■インドシェアの拡大

67%



70%以上  
12次中計末

グローバルマーケットリーダーを維持

新規事業 | CASE領域



電動化シフトに向けた地域別戦略

主戦場

インド(アセアン)

### バリューチェーンの構築とリソース投入を推進

大手OEM向け  
量産準備を推進

モータAssy 量産準備開始  
PCU アライアンス着手

現地事業開発体制強化  
ソーシング活動強化



電動基幹部品  
モータコア等

パワーユニット  
モータAssy・PCU/VCU



更なる付加価値  
データビジネス・アプリケーションサービス



# 第12次中期経営計画 進捗



## 四輪事業：基幹事業の収益最大化と新規事業へのリソースシフトを推進

基幹事業 | クラッチ事業 |



### 市場回復と体質改善施策により 収益最大化を継続

市場

- 中国：経済不振
- 北米：市場回復
- ICE→BEVからICE→HEV→BEVへの潮流変化

当社

- HEV動向に向けた最適生産による利益確保
- 適切な価格転嫁やコストコントロールによる体質向上
- 新規事業へのリソースシフトを推進

新規事業 | CASE領域 |



### モータコアSUBモジュール事業 量産準備段階に移行

- 差別化技術開発の推進、一部量産準備へ移行
- 中国、日本でモータコア検証ラインを拡充
- 受注獲得に向けた顧客へのアプローチを継続

成長投資として

50 億円投入  
(2024年度)

日本 35億円  
中国 15億円  
※開発費含む

世界展開している  
拠点を活かして現地生産を  
実現し、拡販を目指す



## 非モビリティ事業 × カーボンニュートラル/社会課題解決

カーボンニュートラルや社会課題解決に貢献する  
事業開発と事業多角化に向けた基盤づくり



### サーキュラーエコノミー

- ▶ 水と大気の浄化、循環システムに繋がる製品・ソリューション

### エネルギーソリューション

- ▶ 創エネ、蓄エネ、省エネと熱マネジメントを活用したエネルギーソリューション(燃料電池、触媒等)

### 新しい価値を生み出す多様な事業創出と風土醸成

- ▶ コトビジネス
- ▶ 社内創出文化醸成、海外ニーズに合わせた新事業展開

### 主な取り組みと進捗

#### 1 カーボンニュートラル取り組み事例

半導体チップ焼成セッター

ターゲット	チップ焼成治具
活用機能素材	多孔質セラミックス
上市予定	2024年
上市までの進捗度	75%

チップ焼成時状態



チップ焼成治具  
セラミックスセッター



半導体焼成治具市場

**1,030** 億円 (2030年予測)

#### 2 エネルギーソリューション取り組み事例 ～モビリティ領域にも展開～

LiB用導電助剤

ターゲット	LiB電極
活用機能素材	多層CNT
上市予定	2025年
上市までの進捗度	50%

多層CNT



導電助剤



CNT導電助剤市場

**3,060** 億円 (2030年予測)

※LiB：リチウムイオンバッテリー ※CNT：カーボンナノチューブ

#### 3 多角化に向けた仕込みと探索

- 再生繊維受注
- ドローン事業受注(インフラ点検)

再生繊維  
(和紙糸)



## サステナビリティへの取り組み

気候変動

カーボンニュートラル(2050)に向け、  
省エネ・再エネ施策を  
FCCグループ全体で推進

### 再生可能エネルギーの積極的な利活用

#### 太陽光発電設備

浜北工場

年間  
推定発電量

**417,444 kWh**  
(年間使用電力量の約8%)



#### 地下水利用熱交換ユニット

渡ヶ島工場

電力  
削減率

**90%**

CO<sub>2</sub>  
排出量

**20.3 t-CO<sub>2</sub>/年削減**



### 2023年度温室効果ガス(GHG)削減量実績

省エネ

**2,730 t-CO<sub>2</sub>**

再エネ

**3,667 t-CO<sub>2</sub>**

人的資本

イノベーション創出のための  
人材戦略の策定と推進

### 人材戦略3つの柱を設定し推進

#### 多様性

多様な人材が活躍できる組織風土の醸成

#### エンゲージメント

エンゲージメント調査実施

#### 人材育成

DX人材育成体系化の推進

多様性の  
推進

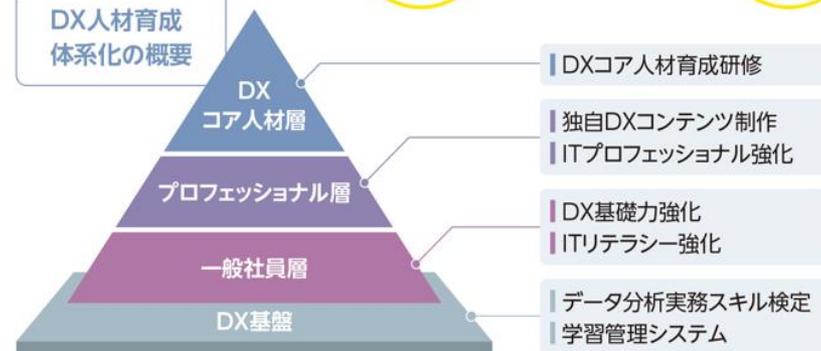
**3** 人材戦略  
の柱

「新しいFCC」を  
自ら実現していく人材を育成し  
イノベーションを創出する  
基盤をつくる

エンゲージ  
メント向上

人材育成  
能力開発

DX人材育成  
体系化の概要



# 第12次中期経営計画 進捗

## ギア アイコン キャッシュアロケーション、リソース投入 進捗

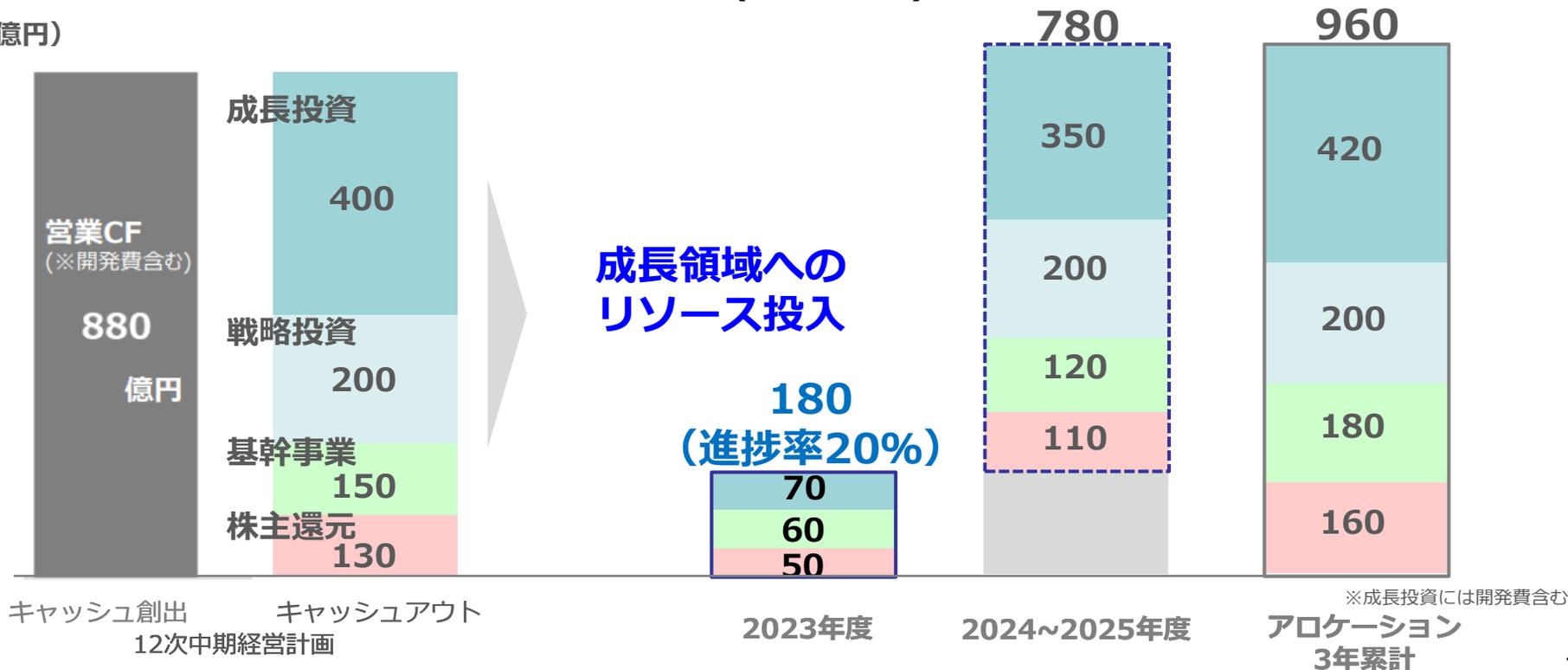
### キャッシュアロケーション

- 健全な財務を維持
- 投資効率を意識した基幹事業への投資と成長投資への重点的な振り分けを推進
- 総還元性向40%以上

### 成長領域へのリソース投入加速

- 12次中計期間内に成長領域へリソースシフト(400人以上)、DX人材など人材育成を推進

(億円)

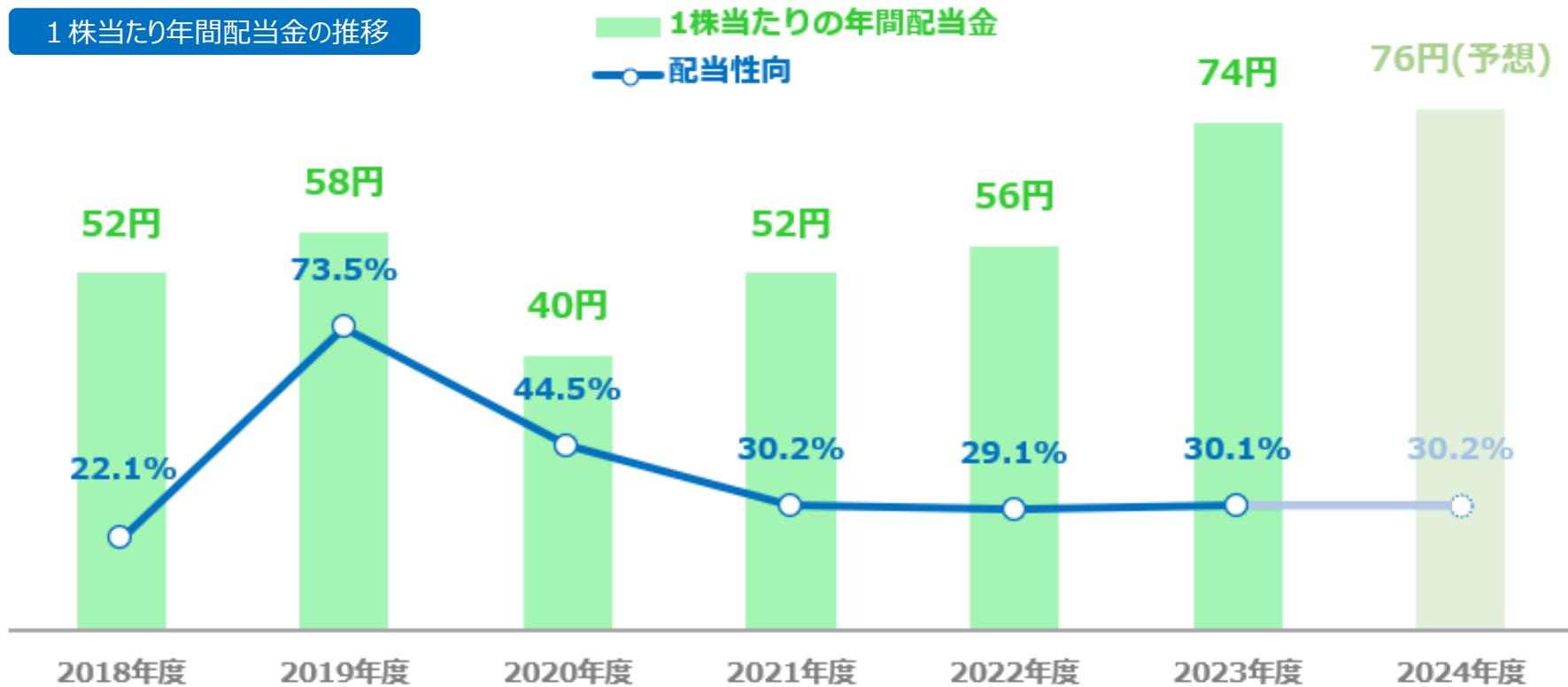


# 第12次中期経営計画 進捗



## 株主還元

### 1株当たり年間配当金の推移



### 自己株式取得額

13億78百万円

13億円(上限)

### 総還元性向

33.7%

73.5%

44.5%

30.2%

29.1%

40.7%

40%以上

**END**